

2014年 あじさいまつり俳句優秀作品

榎本 達 選

昭和二三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。俳人協会会員。

特 選

紫陽花のたどり着きたる濃むらさき

川崎市 藤原 幸子

評 紫陽花の色の変化の末を「たどり着きたる濃むらさき」としました。言い得て妙であると思われました。

薄日さし可憐にひらく夏椿

府中市 小林 良平

評 梅雨の頃は白い花が多いのですが、夏椿の白さは鮮やかです。その白さを「可憐にひらく」と美しく表しました。

紫陽花の浅葱に見入る瞳かな

府中市 古川 緑

評 咲き初めの紫陽花とそれを見つめる瞳の初々しさを捉えました。

あぢさゐは青き地球よ雨に濡れ

府中市 宮田 礼子

評 紫陽花の毬を地球に例えました。新鮮でスケールの大きい連想だと思われました。

紫陽花や土間の匂ひのなつかしく

座間市 小池 義人

評 庭で紫陽花を目にして、茅葺の古民家に入ると、土間は独特の匂いと静けさを醸します。

佳 作

紫陽花にある明るさや雨意の空

府中市 村田のぼる

あぢさゐの青に染りし一日かな

府中市 塩澤登美子

あぢさゐを長く見つめて母の顔

府中市 仙田 滋

紫陽花を車椅子より愛でるかな

府中市 篠塚 巖

雨意満ちて紫陽花の径華やげり

府中市 福江 洽一

足跡の並ぶ植田や多摩の風

府中市 芝 喜久子

紫陽花とせせらぎの音聞いてをり

東久留米市 吉田 恒雄

紫陽花に懈怠の兆しみえにけり

府中市 直木 葉子

あぢさゐの心落ち着く浅葱かな

府中市 池田 遜

紫陽花の肩に触れ合ふ重さかな

府中市 志田 礼子